

## News Release



(別添)

2022年4月28日  
NITE (ナイト)  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
中 部 支 所

## 粗雑な作りのガストーチにご用心 ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集したガストーチの事故情報※1は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2017年度～2021年度までの5年間に合計8件あり、被害状況は軽傷1件(12.5%)、拡大被害4件(50%)、製品破損3件(37.5%)となっています。そのうち6件(87.5%)が火災に至っています。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

### 1. ガストーチの製品事故の発生状況

#### (1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1にガストーチの製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 ガストーチの「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)※2

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	総計
2017年度	0	2 (1)	0	0	2 (1)
2018年度	0	1 (1)	0	0	1 (1)
2019年度	1 (1)	1 (1)	0	0	2 (2)
2020年度	0	2 (2)	0	0	2 (2)
2021年度	0	1	0	0	1
合計	1 (1)	7 (5)	0	0	8 (6)

(※2) ( )は火災件数。

## (2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 にガストーチの製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表 2 ガストーチの「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）※2

被害状況※3		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	1	0	0	1
物的被害	拡大被害	1 (1)	3 (3)	0	0	4 (4)
	製品破損	0	3 (2)	0	0	3 (2)
被害なし		0	0	0	0	0
合計		1 (1)	7 (5)	0	0	8 (6)

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. ガストーチの製品事故の事故事例

(1) 2018年7月（愛知県、20歳代・男性、拡大被害）

### 【事故内容】

車の荷台でガストーチ及び周辺を焼損する火災が発生した。

### 【事故原因】

作業後にガスボンベを取り外さず、点火ボタンをロックしていなかったため、工具箱内に入れたときに点火ボタンが押される状態になり、火口から炎が出て周辺の可燃物が焼損したものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「消火後はボンベを取り外す。」、「誤動作防止のため点火スイッチをロックする。」旨、記載されている。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】 ガスボンベ、点火ボタン、ロック、可燃物

(2) 2020年10月（愛知県、50代・男性、製品破損）

【事故内容】

ガストーチを使用中、ガストーチを焼損する火災が発生した。

【事故原因】

ガストーチは、ニードル部に使用されているシール用リングの外径が小さく、ガス気密性が十分でなかったため、つまみを開いて点火した際にガス漏れが生じ、バーナーの炎が引火したものと考えられる。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】 ニードル、シール、リング、ガス漏れ、バーナー

### 事故品・事例を確認

#### 一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

### 3. ガストーチの製品事故の実験映像等について

ガストーチの製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。

**(本件に関するお問い合わせ先)**

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者：横田 勝、横山

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902、携帯：080-3736-7515